

天理よろづ相談所病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

また、この研究は当院の研究倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	高齢救急患者における左室長軸機能と治療方針意思の関連
当院の研究責任者（所属）	救急診療部 高岡諒
本研究の目的	心エコーの左室長軸機能（僧帽弁輪収縮期移動距離：Mitral Annular Plane Systolic Excursion：MAPSE）を身体予備能に関連する指標の一つとして位置づけ、高齢救急患者における蘇生や集中治療に関する治療方針意思との関連を探索的に検討する。
調査データ 該当期間	病院長許可日から 2026 年 9 月 30 日まで
研究方法 (使用する試料等)	<p>■調査対象となる患者様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急車で搬送された患者（急性冠症候群や脳卒中など、専門科が初療を担当するものは含まない） ・ 年齢75歳以上 ・ 心エコー検査によりMAPSE測定が可能 ・ 搬送前治療方針意思が確認できる、または未定として分類できる ・ 搬送前の全身状態や日常生活機能の情報（パフォーマンス・ステータス）が確認できる <p>■使用する情報</p> <p>① 治療方針意思分類 搬送前の治療方針意思を以下の3群に分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 治療制限なし ・ 治療制限あり（Do Not Attempt Resuscitationを含む） ・ 未定 <p>② 心エコー計測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急診療では、スクリーニング検査としてPoint of Care エコー検査（POCUS）が広く行われている。POCUSで描出した画像により、追加の侵襲なく、保存画像からMAPSE測定が可能である。 <p>③ パフォーマンス・ステータス 本研究ではパフォーマンス・ステータスの代理指標として ECOG PS スコアを使用する。</p> <p>0 まったく問題なく活動できる。</p> <p>1 肉体的に激しい活動は制限されるが歩行・軽作業可能。</p> <p>2 歩行・身の回りのことはできるが作業は不可（日中の50%以上はベッド外）。</p> <p>3 限られた身の回りのことしかできず日中の50%以上をベッド・椅子で過ごす。</p> <p>4 完全に動けず、寝たきりですべての身の回りの世話が必要。</p> <p>④ 背景因子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢 ・ 性別

	<ul style="list-style-type: none"> ・搬送契機 ・居住形態（自宅または施設）
<p>試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法</p>	<p>他の機関への試料・情報の提供はない</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。</p>
<p>本研究の資金源 （利益相反）</p>	<p>本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。利益相反については、当院の利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。</p>
<p>研究期間</p>	<p>病院長承認日 ～ 2027年3月31日</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>天理よろづ相談所病院 救急診療部 電話：0743-63-5611（代表） 研究責任者：高岡諒</p>